

1 月度理事会議事録（2024 年 1 月 9 日（火）開催）

1. 会長報告（12 月 12 日（火）～1 月 8 日（月）出席案件）

12 月 17 日（日）タイ王国元留学生協会・年末パーティー（代理出席：小田原理事）

於：Emerald Hotel Rachada

12 月 19 日（火）Toyota Gazoo Racing Festival 2023 於：TOYOTA ALIVE

1 月 5 日（金）企画推進部会議・三役会 於：本館

2. 退任理事挨拶

・岩本顕理事（Hino Motors Sales (Thailand) Ltd.）

→帰任のため退任、ご挨拶を頂いた。

3. 一般報告（事務局）

（1）12 月度個人会員動向

入会者 58 名 退会者 122 名 現会員数 4,754 名（内、準会員 29 名 会友会員 203 名）

（前年同月 4,850 名・前年同月比 97.4%）

（2）12 月度賛助会員

〈入会 1 社〉

・Teppen Langsuan Co., Ltd.（レストラン）

〈退会 3 社〉

・Cicom Brains UBCL Co.,Ltd.

・Thai-Japanese Amata Co.,Ltd.

・The Table Co.,Ltd.

現会員数 507 社（前年同月 514 社・前年同月比 98.2%）

（3）会員優待店

【新規優待店】

・なぎ屋(サトーン)

・KARADA (Silom, Rama9, The 49 Terrace, K-village)

【更新優待店】

・TCK Workshop

・Chic Nails@Sukhumvit49

・ZEN Golfer's Factory

・NAKA GOLF ACADEMY

・BEAR HUG Massage&SPA

・オンラインカウンセリング cotree (コトリー)

・Play Sound Sukhumvit 49

・Yellow ribbon kitchen

・お肉の専門店スギモト サイアム高島屋店

・YUZU HOUSE サイアム高島屋店

- ・ Dusit Suites Hotel Ratchadamri, Bangkok
- ・ JustCo - One City Centre
- ・ Central Village (一部店舗)
- ・ VelaBhirom restaurant at Villa Deva Resort and Hotel Bangkok
- ・ SUSTAINA Organic Shop
- ・ SUSTAINA Restaurant
- ・ サイアム高島屋 デパート内 3 商品 (HAMICO/タカラトミー/Airy)

【退会店舗】

- ・ andJo. ATELIER PÂTISSERIE.
- ・ China Shark Fin Restaurant
- ・ Millennium Hilton Bangkok
- ・ まねきダイニング サイアム高島屋店
- ・ 信濃路 サイアム高島屋店
- ・ トンイ (Dong E)

現在の有効店数 89 店舗

(4) 12 月度会館来訪者数

本館：延数 209 名 (実数 142 名)

別館：延数 1,761 名 (実数 692 名)

合計：延数 1,970 名 (実数 834 名)

(前年同月 延数 2,296 名 (実数 861 名) 前年同月比 85.8% (96.8%))

(5) 会館貸出サービス

・ 12～2 月の法人利用を紹介した。入試や販売会での利用の為本館・別館ともご予約いただいている。

(6) 11 月度寄贈報告

- ・ 現金寄付

【納骨堂カンチャナブリ基金】

高野山真言宗総本山金剛峯寺より 10 万円、高野山真言宗タイ国開教留留学僧の会より 5 万円、長原敬峰師より 10 万円、加門知竜師より 1 万円、今川泰伸師より 2,000 バーツ、馬場師滞在期間中のお布施・浄財箱より 11,697.75 バーツ、合計 26 万円と 13,697.75 バーツをご寄付頂いた。

- ・ 本の寄贈

泰日経済技術振興協会付属語学学校 (ソーソートー)、永崎亮寛師、畑主税様、松村秀敏様、梶原美也子様、他 1 名様より、合計 38 冊寄贈頂いた。

・ 永崎亮寛師は、日本人納骨堂元堂守を 1972 年から 1975 年まで務められ在タイ中の記録を取り纏め出版された本を二冊ご寄贈頂いた。

(7) 12 月度会計報告

・ 12 月度収入は、248 万バーツ (前年同月 237 万バーツ 前年同月比 104.4%)

・ 12 月度支出は、206 万バーツ (前年同月 205 万バーツ 前年同月比 100.6%)

・ 単月収支は、41 万バーツ (前年同月 32 万バーツ 差額 9 万バーツ)

・ 累計収支は、187 万バーツ (前年同月 209 万バーツ 差額 -22 万バーツ)

(8) その他報告

- ・1月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：日本映画祭 2024

- ・開催日：2024年1月30日（火）～2月25日（日）
於：ハウス・サムヤーン（バンコク）、その他チェンマイ、コンケン、ソンクラーでも開催
 - ・主催：国際交流基金
 - ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
- 異議なく承認された。

対象事業名：JAPAN EXPO THAILAND 2024

- ・開催日：2024年2月2日（金）～4日（日） 於：セントラルワールドプラザ
 - ・主催：G-Yu Creative Co., Ltd.
 - ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
- 異議なく承認された。

5. 名誉会員申請（石井理事）

- ・名誉会員の内規「4. その他、日本人会に特別の貢献のあった者」に該当する瀬戸正夫氏を名誉会員に推薦したい。

【瀬戸正夫氏経歴】

1931年5月生まれ、92歳。タイの南部プーケットにて日本人の父とタイ人の母のもとに生まれ、盤谷日本尋常小学校（バンコク日本国民学校）に入学。バンブアトーンでの抑留生活を乗り越えた後、タイに滞在することを決意、母とともに貧しい状況にありながら、独学で写真を習得、朝日新聞バンコク支局のカメラマンとしての経歴を経て、東南アジア通信、アジアプレスなどのジャーナリストとして活躍。

【推薦理由】

- ・70周年、80周年、100周年と周年表彰対象者である。
(90周年・110周年の際は、以前に表彰した会員は対象外とした)
(→記録上、短くとも50年以上は、日本人会の活動に貢献頂いている)
- ・戦前、戦中、戦後と日本人会に関わり、日本人会の歴史を知る生き字引的存在である。
- ・100周年史への編纂にもご協力いただいた。
- ・長年に渡り、日本人会各種行事を撮影し記録、「クルンテープ」誌への写真も多数提供いただいている。
- ・1996年6月号～2003年3月号まで、「写楽の旅」を128回連載いただいた。
- ・自身の体験を後世に繋げるべく、講演活動も多数開催されている。

→異議なく承認された。

6. (情報共有) 会館問題について（総務部/事務局）

- ・12月4日（月）・14日（木）に総務部と事務局にて会館問題に関する話し合いを行った。現在の

本館・別館の入館者数および収支の確認などによる現状分析、本館・別館の現在の課題の洗い出し、会員向けアンケート調査の必要性、今後の本課題に関する調査や話し合いのスケジュール等について協議した。2024年7月頃に臨時総会を開催し、会館問題の結論付けを行うことを目標としていきたい。

・2023年12月15日時点での会員属性を報告した。男女比は男性が6割、女性が4割。年齢別割合は30代・40代が全体の6割。会員属性割合は普通会员6割5分、家族会員3割で6割がご家族で利用している。入会年数はおよそ8割が5年未満の会員である。

・2023年12月15日時点での地区別会員数・会員割合を報告した。会員数4,805名のうち自宅住所の登録がある2,892名（全体の60.1%）を対象に調査した結果、スクンビット地区（ワッタナ区・クロントゥーイ区）にお住まいの方が2175名（75.2%）いらっしや、最多であった。（%は自宅住所の登録がある2,892名を母数とした割合）スクンビット地区をワッタナ区（奇数側）、クロントゥーイ区（偶数側）にそれぞれ分けた際の割合は、ワッタナ区が1537名（70.7%）、クロントゥーイ区638名（29.3%）となった。（%はスクムビット地区居住者2,175名を母数とした割合）自宅住所の登録がある人数2,892名を母数とした場合は、ワッタナ区53.1%、クロントゥーイ区22.1%であった。

【以下、会館統合問題において本理事会での発言内容】

太田理事：会館の問題は簡単に結論付けられることではないことを承知しているので、丁寧に皆様と会話しながら方向性を導きたいと思っている。議論の土台となる収支のデータや本館を売却した場合の価値、スクンビット周辺に新たに賃貸・購入する先があるのか、現在の会員にも意見をお伺いする為のアンケート実施等、様々なデータを収集するプロセスが必要となってくるので、それを2月、3月に整わせたい。4月の定期総会には間に合わないが、理事会で何度も議論を重ねた後、オプションをその際に定義して方向性を出せればと考えている。

石井理事：2015年に本館が改装されたが、その後9年間で集客を増やすという計画はあったのか。それと、自宅住所の登録がある会員の75.2%がスクンビット地区へ偏っており、そのうち70.7%が奇数側へ住んでいるということだが、それは実際稼働している会員数なのか。日本人会の恩恵を受けていると思っている会員は全会員の4分の1か3分の1程ではないか。約1500～1800人しか恩恵を受けられないという可能性もあるので、そういうところも考えて資料作成された方がいい。

太田理事：本館の集客については過去10年の収支を見る限り厳しいのではないかと感覚的には思うところはあるが、そちらの数値の方も見える化をしていく。恩恵を受けている受益者という観点でいくと、理事会社の皆様など企業が会費をお支払いいただいている方も多くいらっしやるので、そこも分解して確認できればいいと思う。会館で活動されている会員の方にはアンケートを総務部も入って作成して聞いていきたいと思っている。

石井理事：経験から申し上げますと「この回答がほしい」という方向に傾いたアンケートを作りがちな為、その点気を付けてアンケートを作成した方がよい。

太田理事：その部分もフェアにすべきだと思う。事前に理事の方に見通しいただき、ご意見をいただきたい。

7.（情報共有）令和6年能登半島地震義援金募集について（事務局）

・2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」で被災された方々を支援するため、募金箱（義援金名称「令和6年能登半島地震義援金」）を、日本人会本館・別館等に設置し義援金を受け付ける。受付期間は1月10日（水）～2月2日（金）までを予定している。お寄せいただいた義援金は、全額を日本赤十字社へ送金する。

8.（情報共有）2024年度理事監事選挙について（事務局）

・本年は、2年ごとの理事・監事の選挙の年にあたる為、理事・監事選挙が「推薦立候補制度」にて行われる。

・島田会長より、選挙管理委員長に、JETRO（日本貿易振興機構）の黒田所長、副委員長に、JICA（国際協力機構）鈴木所長を任命した。

・選挙スケジュールについて報告した。2024年1月10日（水）に告知を開始。2月23日（金）公示日・立候補受付開始。3月25日（月）立候補受付締め切り。定員未満の場合は、3月25日（月）当選者確定。定員以上の場合、選挙となり4月22日（月）～24日（水）不在者投票日、25日（木）定期総会当日投票日となる。

9. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）バンコク日本人学校（藤原校長）

11月25日（土）に小学部にて運動会を実施し、児童が1,800人、保護者が4,000人、合わせて約6,000の方が校庭に集まった。大きなトラブルや怪我などもなく無事終了することができた。

・将来プロゴルファーを目指す9年生の男子生徒がタイのゴルフジュニア大会で優勝した。始業式にて優勝トルフィーを渡し、表彰した。

・12月26日（火）に開催された「第11回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール」において、昨年に続き優勝し、2連覇を達成した。日本の新聞で大きく取り上げていただいた。

（2）婦人部（竹井理事）

・12月19日（火）に定例会を別館にて実施し、来年度計画に関わる話し合いを行った。

・2月27日（火）に日本人会別館にて「ハーブボール講習会」を開催予定。講師はLiving Ease Co., Ltd. (at ease)CEOの上野圭司氏。

（3）運動部（岩本理事）

・12月の活動について報告した。12月10日（日）にクルンテープ剣友会が第18回中根杯に出場。12月14日（木）にヨガ同好会による遠足（+屋外ヨガ）を開催し、16名の方にご参加いただいた。

（4）厚生部（安江理事）

・12月の出産準備教室&すくすく会は、ママ・プレママのための食育、わんぱくクリスマス会、プレパパクラス等、7イベントを開催。わんぱくクリスマス会は、2日間で51組の親子にご参加いただいた。プレパパクラスは4組のご夫婦にご参加いただいた。

・12月のメイド紹介ボランティアは、求人が6件、求職者登録が6件、2組の成立があった。

・2023年度成人の日祝賀会は、2月29日（木）に開催予定である。

（5）文化部（澤田理事）

・12月の活動について報告した。12月10日（日）にクルンテープかるた会が第17回小倉百人一首バンコクかるた大会を開催し、97名の方にご参加いただいた。12月10日（日）にクルンテープ写真倶楽部による「アユタヤ遺跡での撮影会」を開催し、9名の方にご参加いただいた。12月22日（金）にフラダンス同好会によるクリスマスイベントを開催し、10名の方にご参加いただいた。

・1月の活動予定について報告した。1月7日（日）に日本亭にて国際結婚友の会による新年会、1月19日（金）に日本人会本館にてタイを知る会による「瀬戸正夫氏お話し会」を開催予定。

（6）会報・広報部（富永理事）

・クルンテープ1月-3月号を1月10日（水）に発送。特集は2024年新年のご挨拶（梨田大使・島田会長）、第50回チャリティーバザー開催報告、ワットアルンCLCスタディーツアー。

- ・ワム、パノーラ、タイ自由ランドの無料情報誌3誌に掲載する広告を紹介した。
- ・12月のホームページアクセス状況は、訪問数6,689、閲覧数15,293で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数140.9%、閲覧数127.2%、前月比は、訪問数79.4%、閲覧数64.5%であった。タイからの訪問数は68.7%、日本からは22.3%。前月と比較し、タイからは17.8%、日本からは9.7%減少している。日本からの閲覧は、東京、大阪、千葉、愛知、北海道の順に訪問があった。
- ・LINEは6回の配信、登録者は前月より54名増加し、7,474名。(有効者数4,128名)
- ・Facebookは33回の投稿、登録者は前月より15名増加し、3,457名。
- ・Instagramは33回の投稿、登録者は前月より21名増加し、1,742名。
- ・X(旧Twitter)は10回投稿し、フォロワーは前月より6名増加し、1,301名となっている。

(7) 企画推進部(富永理事)

- ・2023年度に企画推進部で検討していきたい課題の1つ「会館の有効利用」を目的とした有料レッスン(各4回コース)を2024年1月~3月の期間にて毎週木曜日に日本人会別館にて開催する。好評であれば5月以降も継続して行っていく。
- ・1月11日(木)~2月1日(木)の期間に日本人会別館にてアルティメットファイト(エクササイズ)を4回コースにて開催する。レッスン委託はJSS Star Platinum Co., Ltd.
- ・1月11日(木)~2月1日(木)の期間に日本人会別館にて中級タイ文字講座を4回コースにて開催する。講座委託はJTCA Co., Ltd.
- ・2月8日(木)~29日(木)の期間に日本人会別館にてストレッチトレーニングを4回コースにて開催する。レッスン委託はJSS Star Platinum Co., Ltd.
- ・2月8日(木)~3月26日(火)の期間でタイ語基礎クラスを開催する。2月のリアルクラス(4回)は日本人会別館にて開催し、3月のオンラインクラス(4回)はZoomを使用して行う。講座委託はJTCA Co., Ltd.

(8) 在タイ日本国大使館(新保領事部長)

- ・2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」において、外国人死亡者は現時点で報告されていない。タイ人で被災して避難しているという方も現時点で聞いていない。セター・タビシン首相から岸田文雄首相、パーンプリー・パヒターヌコーン副首相兼外務大臣から上川陽子外務大臣へお悔やみのメッセージが送られている。
- ・タイの入国に際して、今までは観光ビザのみ免除されていたが、商用ビザも免除されることになった。期間は観光ビザと同様で30日以内となり、入国する際にビジネス目的の旨申告が必要となり、証拠書類としてタイ側の会社が発行する証明書(コピーでも可)等の提示も必要となる。詳細は在京タイ大使館HPより確認いただける。労働許可がいる場合については変わらず、労働許可証の申請が必要となる。
- ・1月24日(水)に大使公邸にて新春祝賀会を開催する。
- ・2月7日(水)にクィーンシリキットナショナルコンベンションセンターにて天皇誕生日レセプションを開催する。こちらも日本人会理事会メンバーの方々をご招待する予定であり、これから招待状をお送りする。

(9) 事業部(神原理事)

- ・12月9日(土)に日本人納骨堂にて、高野山真言宗タイ国開教留学僧の会訪タイ団による法要を実施した。訪タイ団の方々約30名と日本人会会員の方々等31名様、総勢約60名ご参列いただいた。大使館からも新保領事部長・川村広報文化部長にご参列いただいた。また、以下の25名様より合計25,100パーツと26万円をご寄付いただいた。

【ご寄付】 ※順不同

高野山真言宗総本山金剛峯寺、高野山真言宗タイ国開教留学僧の会、長原敬峰様、加門知竜様、今川泰伸様、富永里美様、吉田幸江様、濱田文子様、赤根加代子様、日高龍雄様、小野雅司様、杉本美智様、黒川かほる様、野中房子様、山川喜美代様、森妙子様、松田福子（華香）様、白木理佳様、高橋芳子様、森里恵様、野村学様、政岡絢子様、貞廣明美様、山田光英様、宮田幸枝様

- ・12月9日（土）のタイ国開教留学僧の会による法要時に、高野山真言宗開教留学僧の会より3万円、長原敬峰師より10万円、加門知竜師より1万円、懇和会宛てにご寄付いただいた。
- ・2月3日（土）に日本人会本館にて、懇和会による新年会を開催する。総勢50名～70名が参加を予定しており、タイ味の素様、パーソネコンサルタント様・サイアム高島屋様他複数の企業様より、ご福引用賞品のご協力をいただける予定である。
- ・2月17日（土）にカンチャナブリ慰霊塔法要の実施を予定している。

（10）食堂運営委員会（石井理事）

- ・12月の食堂売上を報告した。合計売上は967,030バーツ、会計件数1,571件、タイ人顧客は2,633名、邦人顧客は465名、総顧客数3,098名、会員利用者延べ人数は117名、実数70名であった。
- ・商品売上金額・商品個数ともに「ちらしスペシャル」が1位であった。

（11）国際交流基金（栗山所長）

- ・後援承認いただいた「日本映画祭2024」は、例年より1週間長くバンコクで開催する。いろいろな作品を上映するのでご来場いただければと思う。

（12）JCC（易木事務局長）

- ・「令和6年能登半島地震」の義援金募集について、どのように窓口をつくるか検討している。確定次第、大使館・日本人会事務局に情報共有するようにする。
- ・1月31日（水）に新年賀詞交換会をロイヤルオーキッドシェラトンにて開催する。

（13）青少年部（事務局）

- ・12月の活動について報告した。バスケットボールサークルは12月3日（日）にトーナメント戦（STA Flames U11 Division C&D Basketball Tournament）に参加し、総合2位となり、12月16日（土）にはお楽しみ会（練習会）を実施し、50名が参加した。ブラスバンドサークルは12月3日（日）にクリスマスコンサートを実施した。
- ・現在、水泳サークルとバスケットボールサークルが日本人学校での活動を希望しており、1月11日（木）に日本人学校との話し合いを予定している。

10. 12月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

11. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、加藤、日高（丸紅）、吉田、富永、太田各副会長、大久保、小田原、神原、澤田、安江、岩本、土田、竹井、藤、佐藤、金子、豊田、石井各理事、宮口、井原各監事、新保在タイ日本国大使館領事部長、藤原バンコク日本人学校校長、栗山国際交流基金所長、森下JETRO代表、易木JCC事務局長、猪股氏、奥森氏、事務局（村上・高畑・松田）